

子育てふれあい広場準備中 鷹番保育園跡地、こども家庭センター



区立鷹番保育園の跡地を利用し、今年4月開設予定の「こども家庭センター」内に、「子育てふれあいひろば」が開設されます。

1/8(水)には、事業委託業者の公募を行う旨の報告がありました。報告内容にはさほど目新しい情報はありませんでした。質疑の中で役所側から、

- ・公民連携やコミュニティ形成の拠点にしていきたい。
- ・保育園や幼稚園の入園前は家にこもりがちで親子が気軽に訪れる場にしていきたい.....という意思が窺えました。

今年度末に改定される「目黒区子ども総合計画(素案)」では、「子育てが楽しくなるまち」を目指すとの記載もあります。今回の公募でどのような事業者に応じて頂けるかはまだわかりませんが、目黒区に住む若年層(自称)の夫婦という立場からも、どのような場になるか楽しみです。

校舎建替え、先行事例 南部地域の区立向原小学校を視察

1/14(金)、特別委員会の視察として目黒本町にある向原小学校の仮校舎へ。

新校舎完成前に災害が発生した場合の避難所機能、校庭が狭くなる中での外遊びの場所や学童保育などの疑問に答えて頂きました。体育館は無くなりませんが、遊び場は中央体育館も活用できるように調整をしているとのこと。鷹番小学校の建替えに際しては碑文谷体育館が活用できそうですが、油面小学校や上目黒小学校、五本木小学校などの建替えてどうするかは注目していきます。



仮校舎ですが、新しいだけあってトイレも備品もピカピカでした。

目黒区議会議員 橋本しょうへい プロフィール

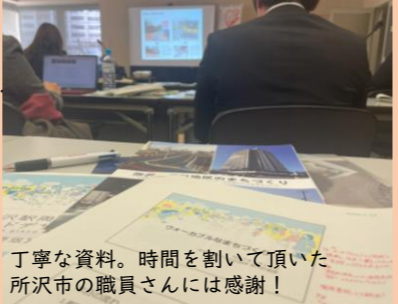
1989(平成元)年6月6日神奈川県生まれ、埼玉県深谷市出身 埼玉県立熊谷高等学校、明治大学卒 (株)ダイエー、手塚よしお秘書を経て2019年初当選、2024年区議補選から2期目。双子の兄弟 <所属>文教・子ども委員会、施設更新・DX等調査特別委員会、住宅政策審議会 など <趣味>空手(和道、松濤館)、スキー、食べ歩き <特技>手話 <好きな言葉>温厚篤実、一意専心 <好きなもの>りんご、みかん、麻婆豆腐、クラフトビール <尊敬する人>渋沢栄一、後藤新平

ウォークアブルな祐天寺へ!? 関東若手議員の会勉強会@所沢市

1/14(火)所沢市役所にて、超党派の「若手議員の会」の勉強会に参加してきました。テーマは「ウォークアブルなまちづくり」。クルマ中心ではなくヒトを中心にしたまちづくりをしていこうという国土交通省の政策で、祐天寺駅前広場の整備では目黒区も活用しているスキーム。

所沢市は市民と協力し、社会実験として公園や古民家を活用したイベントも試みていました。目黒区では区立公園条例によって公園で露店や商店が出せません。空き家も少ない中でどのような場所が使えるのかなのか質問したところ、他の選択肢も複数あるとのことでした。

私の1期目の区政レポートでも何度か取り上げています。また、祐天寺駅前広場の工事がまだ始まらないからこそ、できることがないか、もうしばらく探り続けていきます。



丁寧な資料。時間を割いて頂いた所沢市の職員さんには感謝!

あとかき

今回もご覧頂き、ありがとうございます。昨年末は4月の区議補選からの8か月間のご報告をと、学芸大学駅や祐天寺駅に立ってマイクを握りました。予想以上に多くの方々からお声がけを頂き、気付けば半分以上は多彩な方々との話に時間を費やしていました。冷たい風の吹く中で手足は冷えましたが、本当に心が温かくなりました。

なお今回は書き切れませんでした。この間には区議会本会議での一般質問も行っております。来月に発行予定のVol.31でもご報告しますが、ご興味のある方はぜひ目黒区議会中継の録画をご覧ください。

https://smart.discussvision.net/smart/tenant/meguro/WebView/rd/council_1.html
<https://www.kensakusystem.jp/meguro/sapphire.html>



キャベツひと玉の値段に敏感でありたい

目黒区議会議員 橋本しょうへい 区政レポート

Vol. 30
2025.2.26発行

〒153-8573
目黒区上目黒2-19-15 5階
目黒区議会立憲民主光教室

Tel 080-5090-2560
Mail info@shohel.tokyo

QRコード: ホームページ(公式), Twitter

年末は2回の議会開催(第4回定例会&第3回臨時会) プレミアム商品券事業も、年度明けに実施されます



商品券販売に先立ち、取扱店舗の募集が始まりました

昨年末は11/21(木)~12/5(木)の令和6年第4回定例会の他に、目黒区議会では12/16(月)に政府の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の交付に伴う補正予算の審議があり、2回にわたる議会開催となりました。今回は、その議案の一部を報告します。

- ・令和6年度一般会計補正予算(第3号) 国の交付金への対応の他に、また区内の商店街等で使えるプレミアム付デジタル商品券を発行することに。販売などは店舗側のエントリーは3月中旬以降、購入申し込みは年度をまたぎ、第1回が5月中旬頃からとなる見込み。目的に対する効果については疑いの余地がありますが、今回は都の助成金を使うため目黒区の持ち出しが必要ないということが確認できました。遠慮なく買い、使っていこうと思います。

また、住まいの防犯対策助成事業として、防犯ガラスや録画機能付きドアホンなどへの補助も行います。詳細は紙幅が乏しいので、ぜひ区のホームページへ。



<https://www.city.meguro.tokyo.jp/seikatsuanzen/bousaiizen/bouhan/tatemonojyoseikaisi.html>

- ・体育施設の利用料の見直し 来年度から体育館、サッカー場、野球場の利用料が上がる一方で、高校生年齢相当も小人の区分になります。

- ・区有通路路線の認定 祐天寺駅近くの私道を区道に変更。恥ずかしながら私道だと知らずに通っていたので、ちょっとびっくりでした。所管なる「都市環境委員会」のメンバーで現地にも訪れたとのこと。



地方自治法上、区の財産に関わる案件は議決が必要になります

- ・地方議会への多様な人材の参画推進を求める意見書 国への意見書として他の会派から出されましたが、議員の厚生年金への加入を求める内容もあったことから私たちは反対。議員の多様性を確保するべきだという考えは大いに賛同します(実際に立憲民主党の目黒区議も5人のうち2人が女性、私も含めた2人が30代の若手です)が、厚生年金の掛金は労使折半。財源は国民健康保険と違って「使」側が負担する半額が税金になります。目黒区議会も含めた都市部ではきちんと専門の議員としても生活するに足る報酬が支払われる場合がほとんど。議員報酬が極端に低く定員割れとなっている自治体の議員であれば賛成に回ったかもしれませんが、

目黒区議会の今後の主な日程

2月27日(水)	10時~	企画総務委員会
2月28日(木)	10時~	特別委員会
3月6日(木)	13時~	本会議
3月7日(金)~14日(金)	10時~	予算特別委員会(平日のみ)
3月21日(金)	13時~	本会議
3月28日(金)	10時~	特別委員会
4月7日(月)		区立小学校入学式
4月8日(火)		区立中学校入学式
4月9日(水)	10時~	企画総務委員会 生活福祉委員会 都市環境委員会 文教・子ども委員会
4月11日(金)	10時~	特別委員会
4月25日(金)	10時~	特別委員会

目黒区議に立候補する人は十分な人数。このような状態にある自治体から意見書を出すことは理にかなっていないと考えて反対に回りました。皆さんはどのように考えますか。

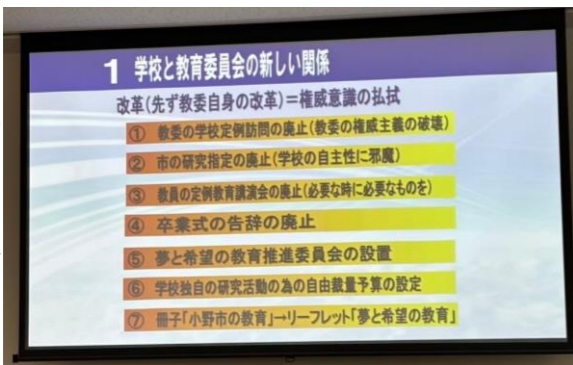
年末の視察報告 文教子ども委員会・特別委員会

前回の区政レポートVol.29で報告しきれなかった、年末の委員会視察についてのご報告。移動や宿泊費などの経費以上の成果をもたらせるよう、今後の議論に大いに活かします。

妊娠期からの教育政策

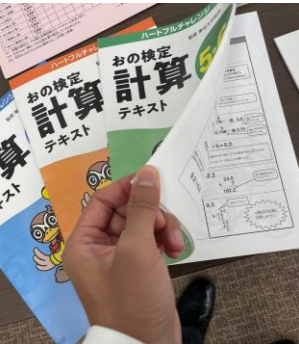
兵庫県小野市 議会改革なども進むまち

文教・子ども委員会の視察では2日目に、他自治体からも多くの視察が訪れる



子ども本位・現場最優先をここまで貫けるのかと、感動。兵庫県小野市へ。「夢と希望の教育」と題し、H17から「脳を鍛える大人のDSとレーニング」の監修でも知られる川島隆太教授の協力の下、脳科学の知見を活かした取り組みを行なっています。

市区町村が子育てや教育に関われるのは妊娠期から義務教育修了(15歳)までの16か年。出産前には「未来のパパママ教室」(平日開催なのに、パパの参加率もほぼ100%)として、



簡単な計算の繰返して脳の発達を促すべく作られたドリル。

して、脳の発達を促すためにどのような教育や子育てが必要かを教え、脳が急成長を遂げる10歳前後では小中学校でなめらかな接続が必要であるとして一貫教育も行います。

その他にも、行政のスリム化への取り組みや、成人式大賞の17年連続入賞、県内初の予約制デマンドバスの導入、議会のオンラインでの委員会開催など、様々な取組を行なっているようです。こうした教育以外の分野については視察資料に項目が書かれていたのみでしたが、様々なアイデアを手にしました。目黒でできそうなものを整理しながら、今後の予算要望や議会での議論に活かしていきたいと思えます。



複合施設「おにクル」

百聞は一見に如かず、大阪府茨木市

大阪府茨木市の複合施設「おにクル」へ、文教・子ども委員会で子育て拠点として視察。R5.11月のオープン以来、市外からも多くの人々で賑わっているそう。運動施設は備えていないものの、ホールや図書館などを備え、様々な機能を備える点は目黒区民センターと似ています。

1階は子育てのための広場のほか、フリースペースや多目的室が中心で、広く取った共用部は多彩な方々がワークショップなどを開催。区画(広さ)と時間によって貸出しの金額を定めており、飛び入り参加も含めて様々な方が思い思いのひと時を過ごしていました。目黒区でも施設を集約するにあたって会議室の在り方について議論をしていますが、そもそも部屋である必要すらないのかも知れません。



広めの多目的室は床の高さを調整して、舞台と階段状の客席も作れる。

2階以上は子育て、ホール、図書館など、階ごとにテーマを決めていました。特徴的だったのは図書館。メインの5階だけでなく、各階にもテーマに合う蔵書をエスカレータ付近に配架。共用部を活用し、何より本を借りる人が増えたという点でも面白いレイアウト。



ホールのホワイエもカーテンを開ければ共有スペース。普段は憩いの空間です。

「おにクル」も市内のいくつかの施設を集約した建物。全国的な人口減少の中では限られた財源で建替えや維持・管理を行う必要があり、当然ながら目黒区も例外ではありません。今回は子育て施設の視察のほすが、思わぬ所で素晴らしいヒントになりました。街の賑わいにも繋がっており、お手本のひとつとしていきたいです。

DXや施設更新の今後？

岩手県一関市で得た、目黒区政へのヒント



興味あるテーマだけに、前のめりで質問しました

目黒区の85倍の面積を持ち、市役所から40km以上離れた家もある一関市。登庁しなくても多くの手続きができ、書類不備での再来庁も防げるよう努力する自治体です。手続きのオンライン化の進捗は目黒区も決して悪くはないですが、撮影した身分証明で書類作成ができる「窓口書類作成システム」、全国初となる生成AIを活用したチャットボットなど、まだまだ真似できるものはありそうです。

また一関市は市町村合併前の古い建物がまだまだ多くあり、建替えはもちろん、建設費や維持費を考えるとその集約や複合化も課題。「先導的な取組による施設保有の見直し」としてそれぞれの建物の築年数や延べ床面積、面積当たりの整備費用を元はかなり緻密な計画を立てたものの、実際の集約はかなり厳しい状況。ただ公共性が低下していると考えられる施設のサービス提供を見直すことや、築年数などの基準を満たした施設は面積当たりの費用、利用者一人当たりの費用、利用率を基に「施設評価」を行うことは参考になりました。R7~8年度に改定が控える目黒区の区有施設見直し計画での議論で大いに活用し、若者や将来世代にツケを残さないようにしていきます。



一関市議会、歴史を感じる部屋。

番外編 審議会でのゴミ処理施設見学

12/6(金)は目黒区廃棄物減量等推進審議会の視察で、粗大ゴミや不燃ゴミの処理を担う「中防処理施設管理事務所」へ。江東区の臨海部にあり、処理量は年間40万t。実際に目に見ると、量の多さに圧倒されました。一昨年の11月にはゴミの中に混入した二次



不燃ごみの処理場。見慣れた収集車が小さく見えます。

その他、こんな自治体も

その他にも昨秋の文教・子ども委員会視察では岡山県庁で「長期欠席・不登校対策スタンダード」、岡山県早島町で「小中学校における特別支援教育の専門性の向上」、滋賀県庁では「子ども県議会」について、昨年末の特別委員会視察では岩手県紫波町の「オガール」も視察しました。



資料によると早起きの習慣作りも不登校防止策のひとつに。

やや強行でのスケジュールで疲労も溜まりましたが、他自治体の取組みを見ると視野が広がります。

特に早島町についてはインクルーシブ教育について、「支援の手をいかに離すか」という担当者の言葉が強く印象に残りました。「義務教育の段階で、社会で生きられるようにしていきたい」という思いからですが、なかなかその方向に舵を切るにはかなりの覚悟と度胸が要りそうです。

また行政がお金を使わずにコミュニティ拠点ができた「オガール」についても、目から鱗が落ちました。行政視察なのに役所の方と会わないというのも異例です。



説明を聞いた施設内の会議室も民営です！

電池(充電電池)での火災によりプラントが3ヶ月稼働停止したことも。仮復旧までですら半年かかっており、本格稼働の再開までは1年間。少なからぬ税金も投入されました。充電電池については区役所での回収も行なっているので、掃除機などのバッテリーについてはぜひ分別や回収にご協力を！ゴミ処理は目黒区議会でも直接議論できない分野ですが、大切な知見を得させていただきました。

